

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、米ドルを買い予約する為替取引を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年9月26日～2019年9月25日

第6期	決算日：2019年9月25日	
第6期末 (2019年9月25日)	基準価額	13,308円
	純資産総額	54百万円
第6期	騰落率	2.9%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

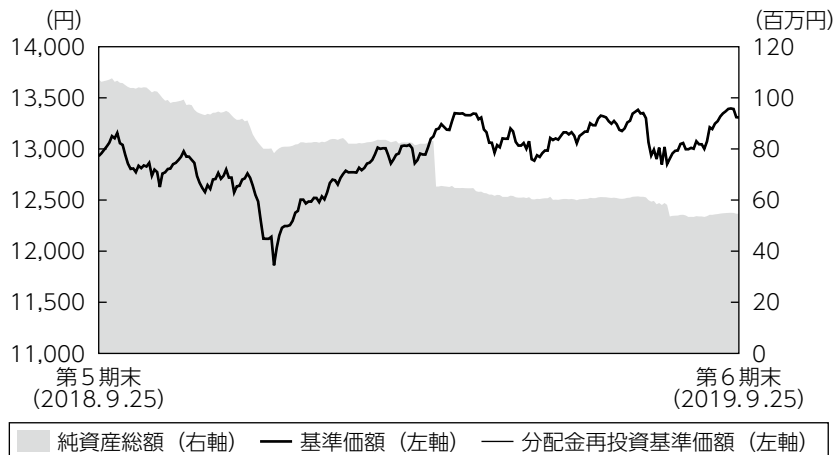
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第6期首：12,931円
 第6期末：13,308円
 (既払分配金0円)
 騰落率：2.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

円建てのケイマン諸島籍外国投資信託である「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス」（以下、「ハイイールド・ボンド・ファンド」といいます。）を通じて、主として海外のハイイールド債券に実質的に投資を行いました。また、国内短期公社債マザーファンドを通じて円建ての短期公社債に実質的に投資しました。当期間における基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

上昇要因

ハイイールド債券市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドルが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	(2018年9月26日 ～2019年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	151円	1.166%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,935円です。
(投信会社)	(49)	(0.378)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(98)	(0.756)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.032)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	151	1.169	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

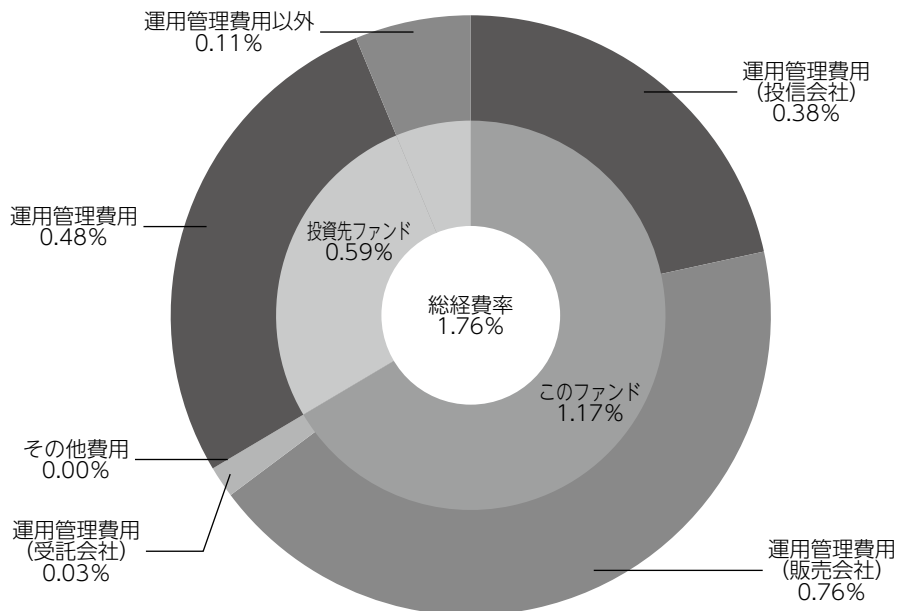
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 (①+②+③)	1.76%
①このファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.48%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

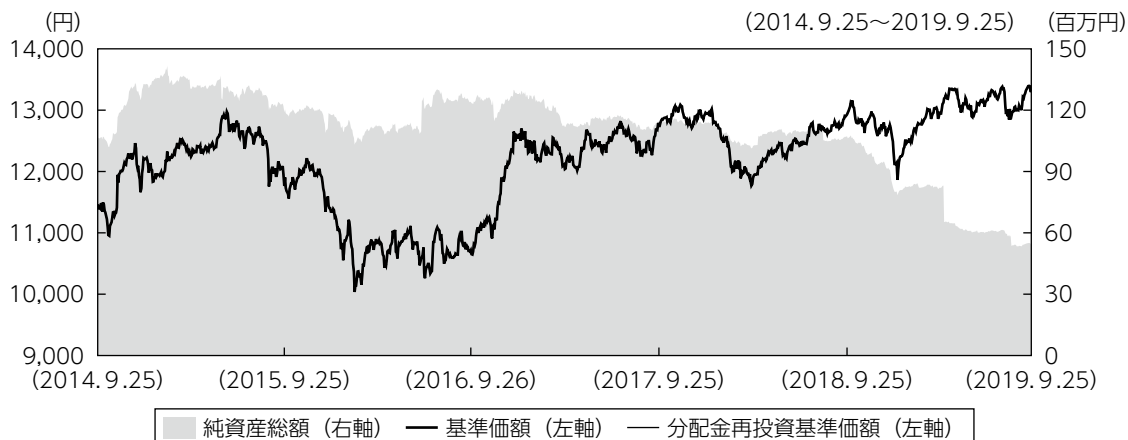
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年9月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年9月25日 期首	2015年9月25日 決算日	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日	2018年9月25日 決算日	2019年9月25日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,464	11,764	10,716	12,743	12,931	13,308
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	2.6	△8.9	18.9	1.5	2.9
純資産総額 (百万円)	106	118	124	114	107	54

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

●ハイイールド債券市場

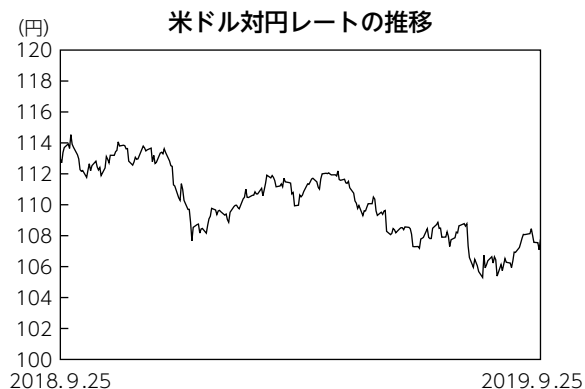
当期間におけるハイイールド債券市場は上昇しました。2018年12月までは、米中貿易摩擦に伴う世界経済の悪化懸念から、投資家のリスク回避姿勢が高まり、同市場は下落しました。2019年に入ると、米国が金融緩和姿勢へ舵を切るなど、世界的な金融緩和の流れに押し上げられました。米国では2019年以降は利下げが実施されたほか、欧州ではマイナス金利の深堀りに加え、量的緩和の再開を決定しました。

●国内短期金融市場

当期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス圏で推移しました。

●為替市場

米ドルは円に対して下落しました。米国で金融緩和が流れとなったことや世界的な景気減速懸念を背景に日米金利差が縮小したことなどから米ドル安円高となりました。



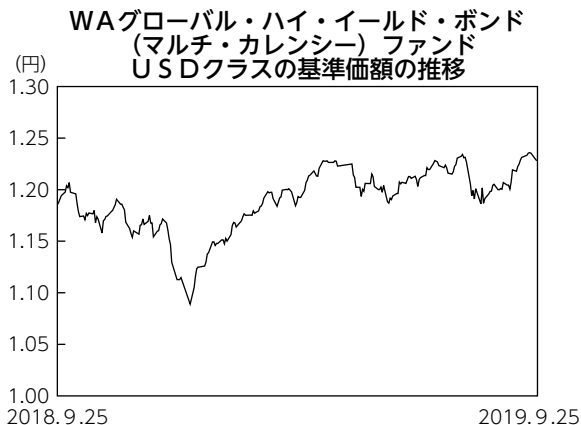
ポートフォリオについて

●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れました。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。

●ハイイールド・ボンド・ファンド

期末時点でのポートフォリオの状況は、キャッシュを除くベースで保有銘柄数は182銘柄、地域別では米国を選好しました。信用格付け別では、B格やBB格の銘柄を中心の組み入れを継続しました。また、セクター別では消費者関連、資源エネルギー、通信などを中心とし、市場動向等に合わせて銘柄選択を行いました。



※基準価額は1口当たりです。

※当作成期間における分配金(累計)を加算しています。

●国内短期公社債マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指す運用方針を維持しました。マイナス利回りの債券については投資を見送り、期末時点の債券組入比率は低位となっています。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年9月26日 ～2019年9月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,376円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れる方針です。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続する方針です。

●ハイイールド・ボンド・ファンド

世界経済の現状や貿易摩擦の高まりに伴う景気への影響、政治・経済基盤が脆弱な国の動向などを慎重に見極める必要があると考えます。こうした中、ハイイールド債券市場について、引き続き主要国の金融緩和姿勢が相場の下支え要因になると考えられます。

今後につきましても、投資対象セクターや個別銘柄の選択に注力し、将来的に財務内容の改善が期待できる銘柄など、柔軟に取捨選択しながら投資リターンを追求する方針です。

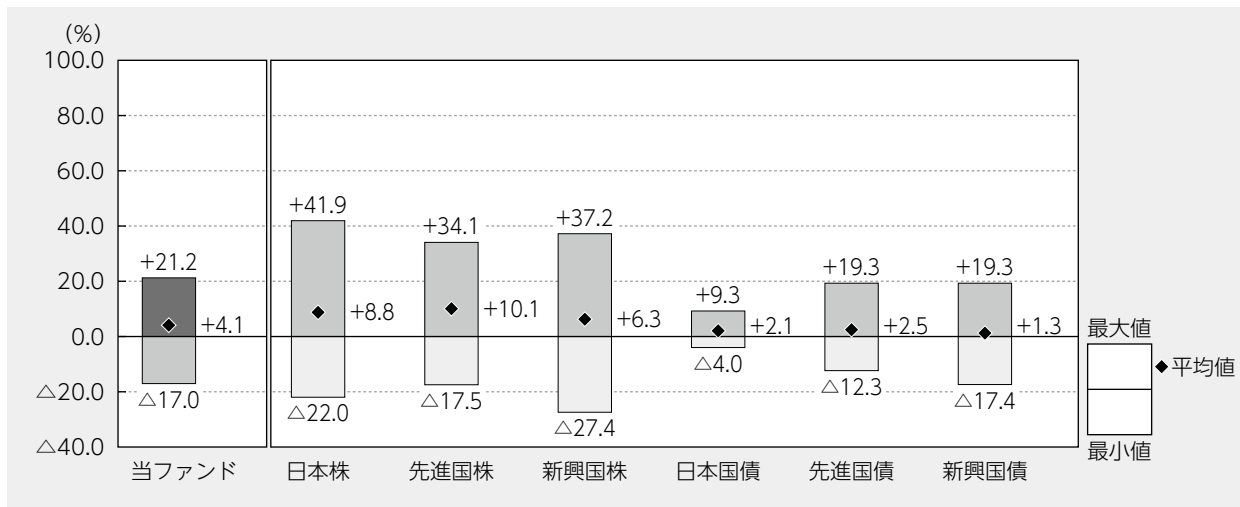
●国内短期公社債マザーファンド

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2013年10月16日から2028年9月25日までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光グローバル・ハイイールド債券ファンド(年1回決算型)	投資信託証券。
	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-USDクラス	主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行います。
	国内短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-USDクラスへの投資を通じて、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、米ドルを買い予約する為替取引を行います。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2014年10月～2019年8月

代表的な資産クラス : 2014年9月～2019年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPMorgan Global-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年9月25日現在）

◆組入ファンド等

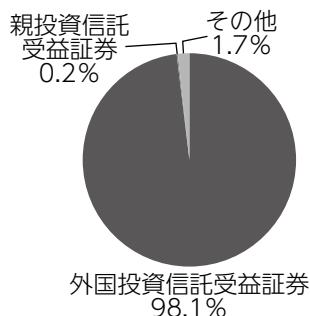
（組入ファンド数：2ファンド）

	当期末
	2019年9月25日
WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド （マルチ・カレンシー） ファンドーUS Dクラス	98.1%
国内短期公社債マザーファンド	0.2
その他	1.7

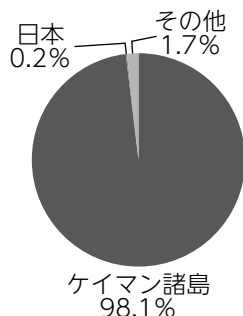
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

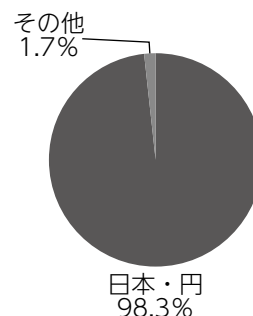
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

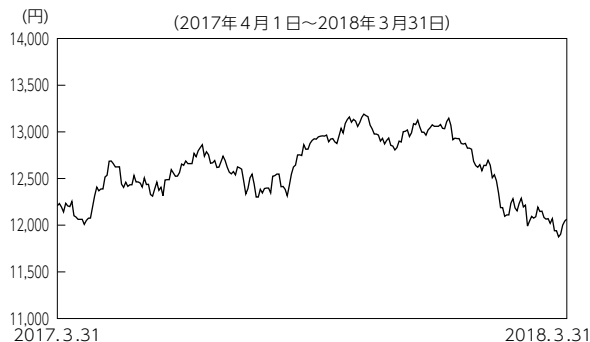
項目	当期末
	2019年9月25日
純資産総額	54,652,167円
受益権総口数	41,068,347口
1万口当たり基準価額	13,308円

（注）当期中における追加設定元本額は149,884円、同解約元本額は41,995,433円です。

組入ファンドの概要

【WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス】

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

(2017年4月1日～2018年3月31日)
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

◆組入上位10銘柄

(2018年3月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	Altice France SA/France 144A 7.375% 2026/5/1	マスメディア	米ドル	フランス	1.5%
2	Sprint Corp. 7.875% 2023/9/15	電気通信	米ドル	アメリカ	1.4
3	Valeant Pharmaceuticals International 144A 9.25% 2026/4/1	製薬	米ドル	アメリカ	1.1
4	Virgin Media Secured Finance PLC 144A 5.5% 2026/8/15	マスメディア	米ドル	イギリス	1.1
5	Pactiv LLC 8.375% 2027/4/15	梱包およびコンテナ	米ドル	アメリカ	1.0
6	HCA Inc. 5.5% 2047/6/15	ヘルスケアサービス	米ドル	アメリカ	1.0
7	Red Oak Power LLC 9.2% 2029/11/30	電力	米ドル	アメリカ	0.9
8	Scientific Games International Inc. 10.0% 2022/12/1	娯楽	米ドル	アメリカ	0.9
9	Freeport-McMoRan Inc. 5.45% 2043/3/15	鉱業	米ドル	アメリカ	0.9
10	DISH DBS Corp. 5.875% 2024/11/15	マスメディア	米ドル	アメリカ	0.7
組入銘柄数			327銘柄		

(注1) 144A 有価証券は、1933年証券法規則144Aに基づき登録が免除されています。これらの有価証券は、登録免除取引において、通常、適格機関購入者への転売が可能です。

(注2) 比率は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」の純資産総額に対する割合で、小数第2位を四捨五入して表示してあります。

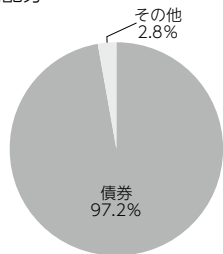
(注3) 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」の個別クラスとなっております。

(注4) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

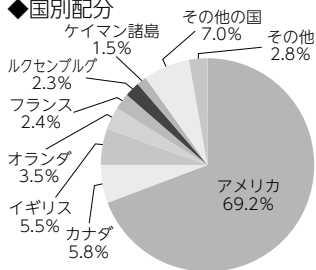
(注5) 上記の表は、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社提供の財務書類より作成しております。

(注6) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

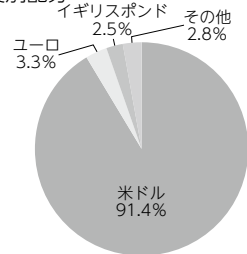
◆資産別配分



◆国別配分



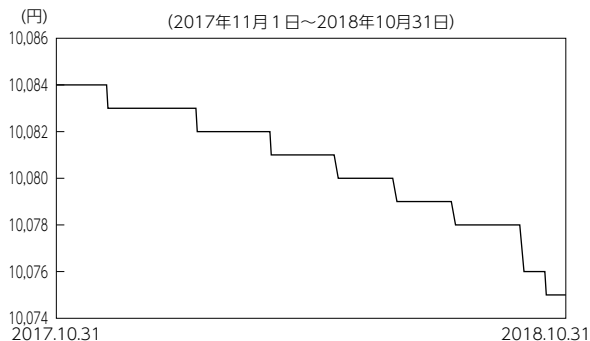
◆通貨別配分



- (注1) 比率は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」の純資産総額に対する割合です。
- (注2) 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」の個別クラスとなっております。
- (注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
- (注4) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
- (注5) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。
- (注6) 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」は、米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、原則として債券の発行通貨売り／米ドル買いの為替取引を行います。
- (注7) 上記のグラフは、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社提供の財務書類より作成しております。

【国内短期公社債マザーファンド】

◆基準価額の推移



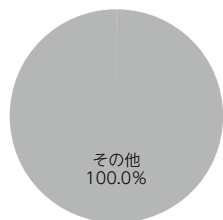
◆1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。 (2017年11月1日～2018年10月31日)

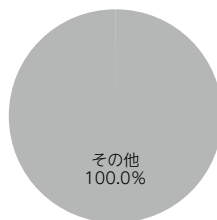
◆組入上位10銘柄

2018年10月31日現在、有価証券等の残高はございません。

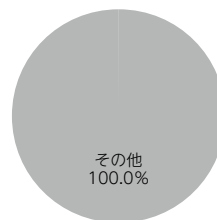
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

